

万博で宇宙落語を演じるのは世界で初めてあむの

祝

花山天文台
日本天文遺産
に認定

宇宙落語会 in 万博

宇宙落語会が大阪・関西万博に出演します。

- ・日時 2025年5月2日(金) 18時-19時
- ・会場 関西パビリオン・多目的エリア
- ・プログラム

宇宙落語 桂 福丸

トークショー 桂 福丸+柴田 一成

太陽や火星などのさまざまな天体映像を上映しながら、
宇宙について対談します



桂 福丸



柴田 一成

70年前の火星スケッチなど貴重な資料を展示

【花山宇宙文化財団展示のご案内】

第3代台長の宮本正太郎博士が残した有名な火星スケッチをはじめ、宮本博士手作りの火星儀など花山天文台に残る天文学研究の歴史を物語る貴重な品々を展示。

期間 2025年5月5日(月・祝) - 11日(日)

会場 関西パビリオン京都ゾーン



宮本博士の手作り火星儀 (中央)



【出演者プロフィール】

桂 福丸（かつら ふくまる）

2001年京都大学法学部卒業。2007年2月、4代目桂福団治に入門。「福丸」の名付け親は作家の藤本義一氏である。入門からたった1カ月の同年3月9日に高石アプラホールにて初舞台を踏む。天満天神繁昌亭、寄席クラシックス等に出演中。2021年より小学生向けの落語会「子どもだけ寄席」を開始。京大宇宙落語会にレギュラー出演している。

2017年度「文化庁芸術祭大衆芸能部門新人賞」「新進落語家競演会新人奨励賞」「花形演芸大賞銀賞」をトリプル受賞。2021年度「大阪文化祭奨励賞」受賞。



柴田 一成（しばた かずなり）

宇宙物理学者・理学博士。京都大学名誉教授（京都大学理学研究科附属天文台元台長）。1954年生まれ、大阪府出身。附属天文台長（15年間）、宇宙ユニット長（2年間）、日本天文学会会長（2年間）を歴任。2001年日本天文学会林忠四郎賞受賞。

2019年「太陽及び宇宙磁気流体力学における先駆的かつ独創的な貢献」により日本人宇宙物理学者として初のチャンドラセカール賞を受賞。2020年にはアメリカ天文学会よりジョージ・エラリー・ヘール賞を受賞。

著書は「太陽の科学」、「太陽大異変」、「太陽の脅威と人類の未来」ほか多数。



【花山宇宙文化財団と花山天文台】

京都大学花山天文台は、1929年の設立から天文学研究の拠点として多くの成果を生み、日本のアマチュア天文学の発展にも多大な貢献をしてきました。今もなお花山天文台には、天体ドーム、望遠鏡、観測資料など、天文学研究の歴史を物語る貴重な品々が残されています。

一般財団法人花山宇宙文化財団は、その花山天文台を末永く存続させ活用するために生まれた団体です。京都大学はもちろん、



京都市や京都府教育委員会とも連携して、幅広い世代に向けた講演会や見学会を開いています。今後は、一般向けの天体観望会や講演会、大学や企業向けの勉強会やワークショップ、宇宙落語会をはじめとした芸術・文化系イベントなどの開催にも力を入れていく計画です。

また、それらの構想実現のために、山本一清初代台長の資料などを保管・展示する歴史資料館や100人収容可能な広さの講義室の建設を目指します。

花山天文台土日公開のご案内→



【花山宇宙文化財団展示のご案内】

第3代台長の宮本正太郎が残した有名な火星スケッチをはじめ、花山天文台に残る天文学研究の歴史を物語る貴重な品々を、関西パビリオンで展示します。



期間 2025年5月5日（月・祝）～11日（日）

会場 関西パビリオン京都ゾーン

京都イベント情報→



【宇宙落語会の今後の予定】

■第3回 宇宙落語会 in うどん県

日時 2025年10月25日（土）午後

会場 天体望遠鏡博物館（香川県さぬき市）

天体望遠鏡博物館ホームページ→

プログラム

第1部 宇宙落語（桂福丸）

トークショー

（柴田元花山天文台長、他）

第2部 星空観望会



入場料 無料

プレイベントとして、柴田京大名誉教授による小中高校生向けの出前授業を行います。



■第15回 京大宇宙落語会

日時 2025年11月23日（日）14時

会場 益川ホール（京都大学北部構内）

※プログラム等の詳細は未定



【問い合わせ先】

一般財団法人花山宇宙文化財団

京都花山天文台の将来を考える会 事務局

〒607-8471 京都市山科区北花山大峰町 京都大学花山天文台内

メールアドレス：info@kwasan.kyoto